

国勢調査って？

10月1日に5年に一度の国勢調査が実施されます。
国勢調査は、日本の未来をつくるために必要な、大切な調査です。大正9年（1920年）の第1回調査以来、国の最も基本的で重要な統計調査として実施されており、令和2年（2020年）は21回目、実施100年の節目を迎えます。

どんなことを調査するの？

世帯員について
「男女の別」、「出生の年月」、「配偶者の有無」、「就業状態」、「従業地または通学地」など15項目
世帯について
「世帯員の数」、「世帯の種類」、「住居の種類」、「住宅の建て方」の4項目

回答しなくちゃダメ？

個人情報は大丈夫？

国勢調査の調査員は各世帯と直接やりとりをするという、統計調査の中で最も重要な部分を受け持った非常勤の国家公務員です。

国勢調査の結果は町の重要な基礎資料として活用されてるべえ



調査の結果は最も早い「人口速報集計」が令和3年2月に公表され、その後、年齢別人口・世帯の状況などを集計した「人口等基本集計」が令和3年9月までに公表される予定です。公表した調査結果については、総務省統計局のホームページのほか、都道府県立図書館などで、どなたでもご覧になれます。

ただのアンケートでしょ？
回答は「義務」なの？

統計調査の結果を基に正確な統計を作成するためには、全ての調査対象から正確に回答した調査票を提出していただく必要があります。

そのため、「統計法」には回答義務が定められており、拒否したり虚偽の報告をした場合の罰則もあります。

統計調査員さんに聞きました

町には、様々な統計調査で活躍されている統計調査員さんがいます。本号では、4人の調査員さんに話を伺いました。

きっかけは統計調査員からのお誘い

「お仕事を辞めてすぐの時に誘われ、何かお手伝いができれば」と思い始めました
「報酬が出ることを後から知り、時間もあったので、続けてみようかなと思いました」

うちに訪問してきた調査員さんの感じが良く、調査員に興味を持ちました。

初めて歩く、大磯の道

「目印のない住宅街は迷ってしまうことがありますが、担当すると、地域を知ることができて良かったです」

「近所や一度担当した調査区は、良くも悪くも先入観があります。初めて担当する調査区はそういったものがないので、まささらな気持ちで臨めます」

「個人情報に気を使われる方も多いので、住まいから少し離れたところを希望しています」

大変な分だけ、やりがいもある

「調査票の回収日を約束しても不在のことがあります。それに怒って辞めてしまう調査員もいました」
「打たれ強くないとできないと思います」
「『大変だね』など、声を掛けてくださるときは、励みになります」

「アパートの方はなかなか会えないので、調査案内やメモ書きを投函します。一度もお会いできていないのにオンラインで回答してくれたときは嬉しいです」

調査中の万歩計を見るのが楽しみ。歩いて健康に

「良い運動にもなりますし、健康のために、元氣なうちは続けようと思っています」

すき間時間にちょっとお仕事

「ちょっと空いた時間など、自分の都合で動けるのは一番のメリットです」
「拘束時間の長いお仕事はできないので私には合っています」

回収日に不在の時は、仕方がないかなと思いついて再訪問します。



国勢調査 調査員を大募集！

町では、調査業務に携わっていただける『国勢調査員』を募集しています。
ご家族やお友達と一緒に、ぜひご応募ください。

応募資格

- ① 20歳以上の健康な方
- ② 説明会などに参加でき、秘密の保持等、責任をもって調査業務を遂行できる方
- ③ 税務、選挙及び警察業務に直接関わりのない方

報酬

- 国の基準に基づき報酬が支払われます（支払方法…1月中旬頃に指定口座への振込）。
- 1調査区担当 3万7,500円程度
- 2調査区担当 7万1,000円程度
- ※担当調査区数・世帯数・調査票回収率により金額は異なります。

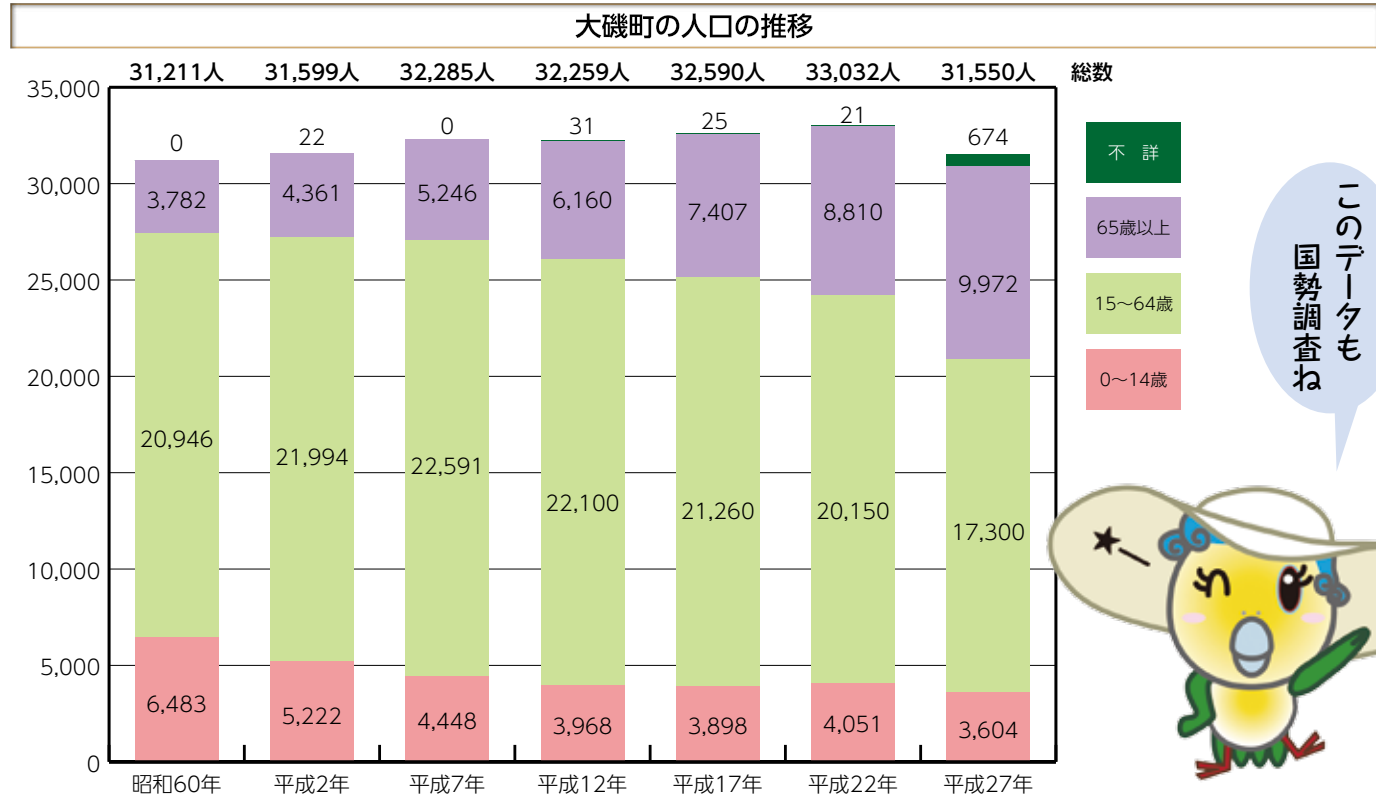
応募方法

- 申込書に必要事項を記入のうえ、郵送・持参・FAXのいずれかにより提出してください。
- ※申込用紙は政策課またはホームページでダウンロードできます。

提出先

- 役場3階政策課
- ※応募いただいた全ての方に、国勢調査員として従事いただけない場合もありますので、ご了承ください。

問 政策課 ☎ 内線207
FAX (61) 1991



このデータも
国勢調査ね

